

(別紙4(2))
目標達成計画

事業所名 : グループホーム 木綿葉

作成日 : 平成26年2月28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	遠方にいる家族が多く行事や誕生日などに参加してもらい機会がなかった。木綿葉で一番大きな「木綿葉の集い」には近くの家族への呼びかけはしているが家族同士の交流の機会がない。	行事に呼びかけ家族様に参加して頂くことにより交流を図りホームからの連絡事項の伝達の間や家族様からの希望や意見を聞く場を設けたい。	家族様が集まりやすい時期、もしくは面会の頻度が多い敬老会の日に計画し家族様に呼びかけし交流の機会を作る。	7ヶ月
2	33	重度化した場合のことは入居当時に方針を伝えているが終末期における指針は出ていない。	終末期における指針づくり	家族の希望調査など行い希望に添えるような指針の検討と現在のグループホームで出来ることを検討する。	12ヶ月
3					
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。